

# 平成30年度普及指導活動方針

平成30年度はみやぎの農業・農村復興計画における発展期のスタートであり、「みやぎ食と農の県民条例基本計画」の実現に向け、農地の集積等による大規模経営体の育成や園芸振興プランの実現に向け園芸産地の支援を一層進めていく。また、国際的に通用する農業生産工程管理（GAP）の普及・拡大，ICT等を取り入れたスマート農業の展開や中山間地域の特色・魅力を活かした農業の発展など，国の施策を踏まえながら取り組む必要がある。

そこで，平成30年度の協同農業普及事業を一体的に進めていくため，プロジェクト課題の設定にあたり，重点的に取り組むべき内容を以下に掲げる。

## 1 プロジェクト課題の設定

農地中間管理事業を活用した農地集積と新たな地域営農システムの構築に向けた支援（以下，「中間管理事業」関連課題）を全普及センターで課題化する。また，国際的に通用する農業生産工程管理（GAP）（以下，「GAP」関連課題）の取組に向けた支援，ICT等を取り入れた新たな農業生産・経営管理技術導入（以下，「ICT」関連課題）の取組に向けた支援，中山間地域の特色を活かした農業の展開（以下，「中山間地域振興」関連課題）に向けた支援について，地域の取組状況に合わせて，いずれかを必ず課題化する。

## 2 活動内容

### （1）生産現場の技術革新と経営管理能力向上による競争力のある経営体の育成

ICT・ロボット技術や環境制御技術等を取り入れたスマート農業を推進し，生産現場の技術革新と経営管理能力の向上に取り組む経営体を支援（「ICT」関連課題）する。また，新たな水稻奨励品種「だて正夢」，「金のいぶき」等の生産拡大，みやぎの園芸トップブランドの育成など消費者ニーズに応える農畜産物の生産や栽培・飼養管理の最適化，省力・低コスト技術等の導入を支援する。

### （2）消費者に信頼される農産物の生産システムの定着と多様なマーケットにアプローチするアグリビジネス経営体の育成

消費者に信頼される国際的に通用する農業生産工程管理（GAP）に取り組む経営体の育成と定着を支援（「GAP」関連課題）するとともに，環境と調和した農業生産や放射性物質の吸収抑制技術など，安全で安心できる農畜産物の生産に取り組む経営体を育成する。また，異業種との連携や6次産業化等の推進，輸出や加工・業務向け販売等に取り組むアグリビジネス経営体の育成を図る。

### **（３） 地域農業を支える経営体の育成と地域農業の構造改革に向けた支援**

農地中間管理事業を活用した農地集積等を推進し、水田農業の効率化や地域振興作物等（野菜，花き，果樹，畜産等）の導入・生産体制の整備を図り，新たな地域営農システムの構築に向けた支援（「中間管理事業」関連課題）をする。また，地域農業を支える認定新規就農者，女性農業者，集落営農組織及び認定農業者等の多様な経営体の育成を図る。

### **（４） 中山間地域をはじめとした農村地域の振興に向けた支援**

中山間地域等の振興を図るため，地域振興の核となる意欲を持った前向きな組織や経営体の育成を図るとともに，地域資源の維持・継承や特色を活かした取組を支援する。また，都市と農村の交流など，多様な関係者が連携した交流活動のほか，鳥獣被害対策の地域的な取組（「中山間地域振興」関連課題）を支援する。